

＜指導上のポイント＞

この本は、「数と計算①」と「数と計算②」の続編です。「数と計算①」と「数と計算②」で育てた能力を基礎として、さらに問題処理能力を高めていきます。問題の種類とレベルは、「数と計算②」と同程度です。

すべての問題が「数と計算①」と「数と計算②」で出てきたものと同様なので解説を省きますが、この本では全ての問題で、指導者が読み上げて解答させるという方式となっています。本から問題文を切り離して使ってください。

問題の解説に関しては、「数と計算①」「数と計算②」をご参考ください。

何度も申しますが、問題解決の基本は、これまでと同じで、全部のものを視野に入れ、比較しながら判断することですので、これを忘れないようにしてください。そして、問題を読み、できるだけヒントなしで自分で考えさせ、解答させましょう。良い指導とは、教えないで自ら学ばせるということであり、とても重要なことです。

さて、算数教育の目的とは、世界を数量としてとらえる能力と、問題を解決する能力を育てる 것입니다。一部分や狭い範囲だけの解決能力ではなく、全体的でより広い範囲の問題に対処できる能力を育てなければいけません。小学校入試で出題されるような小学校低学年レベルの問題だけに対処できる低い能力ではなく、一生役立つ高い数能力の育成のために、この本を使っていただければ本当にうれしいことです。

数能力に関してもっと詳しく知りたい方は、弊社書籍「2才児のさんすう」をご覧下さい。さらに高度な数能力の育成に役立ててください。

以上のことを利用して、この本を上手に利用してください。

【指導者用問題文】 問題文を切り離して使ってください

【指導者用用紙】

<問題1>の問題文

次の絵の中で、一番数の多いものに、○をつけましょう。

<問題2>の問題文

左の絵と右の絵を比べて、数の多い方に○をかきましょう。

<問題3>の問題文

右の絵をくらべて、左と同じ数にするには、右にいくつ足せばよいでしょうか？その数だけ○をかきましょう。

<問題4>の問題文

左端と同じ数のものを見つけて○をつけましょう。

<問題5>の問題文

左端の絵と同じ数にするには、どれを合わせればよいでしょうか？右から2つ選んで○をつけましょう。

<問題6>の問題文

左と右の絵を合わせると、いくつになりますか？合わせた数だけ□の中に○をかきましょう。

<問題7>の問題文

5つの絵の中で、一つだけ数の違うものがあります。その絵をみつけて、○をつけましょう。

<問題8>の問題文

左側の数より、1つ多い数を見つけて、○をつけましょう。

<問題9>の問題文

左側の数より、2つ多い数はいくつになりますか？□の中に○をかきましょう。

<問題10>の問題文

左端の絵と同じ数の絵を右から見つけて、○をつけましょう。

<問題11>の問題文

- ① 左側のイヌの耳の数の合計を、○でかきなさい。
- ② 左側の三輪車の車輪の数の合計を、○でかきなさい。
- ③ 左側のトンボの羽の数の合計を、○でかきなさい。
- ④ 左側の人間とネコの手足の数の合計を、○でかきなさい。

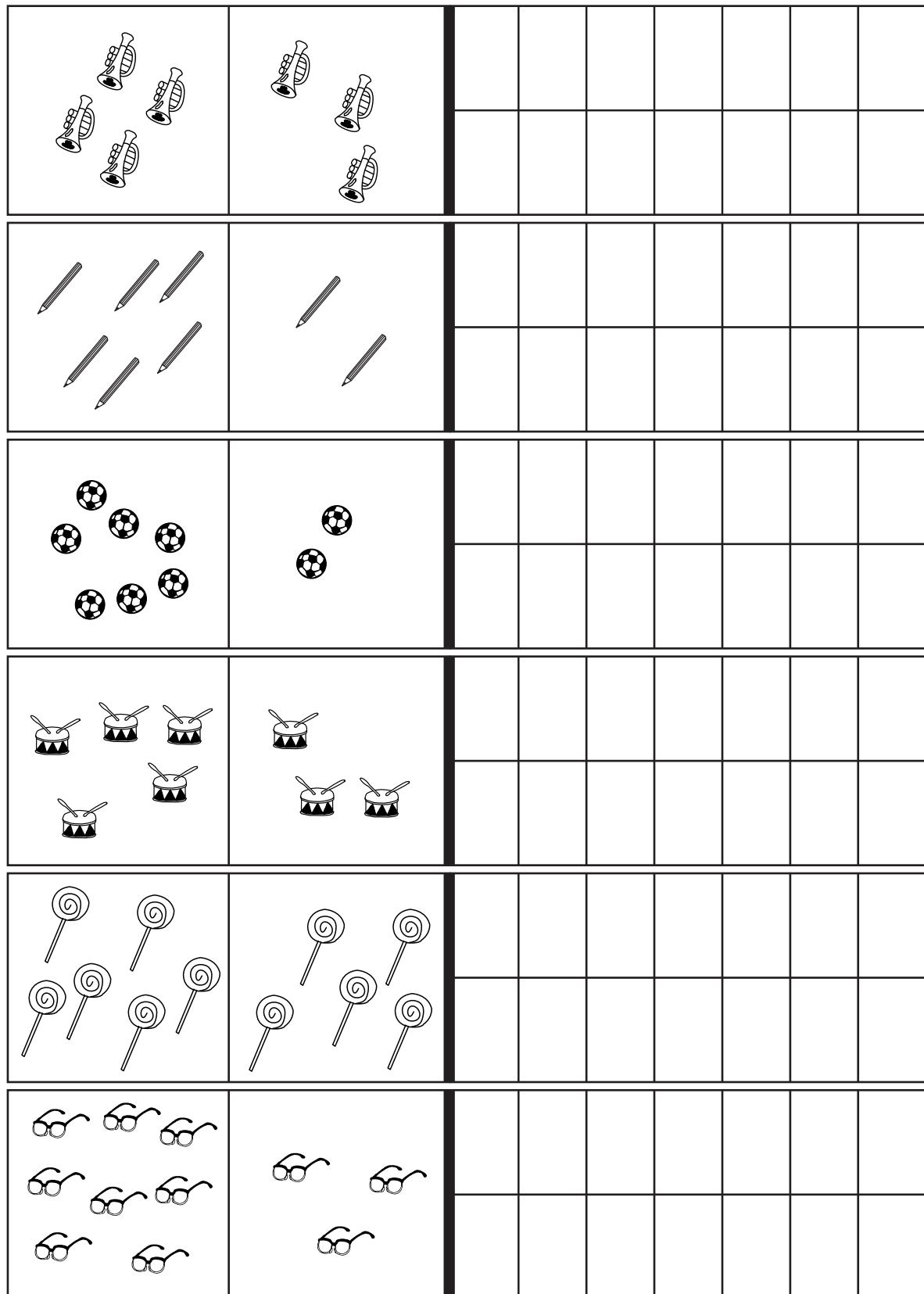
<問題12>の問題文

左側の○は、丸い筒の中を通ると、数が2倍に増えます。四角い筒の中を通ると、数が3倍に増えます。さて、左の絵では、○はいくつになるでしょうか？増えた数だけ□の中に○をかきなさい。

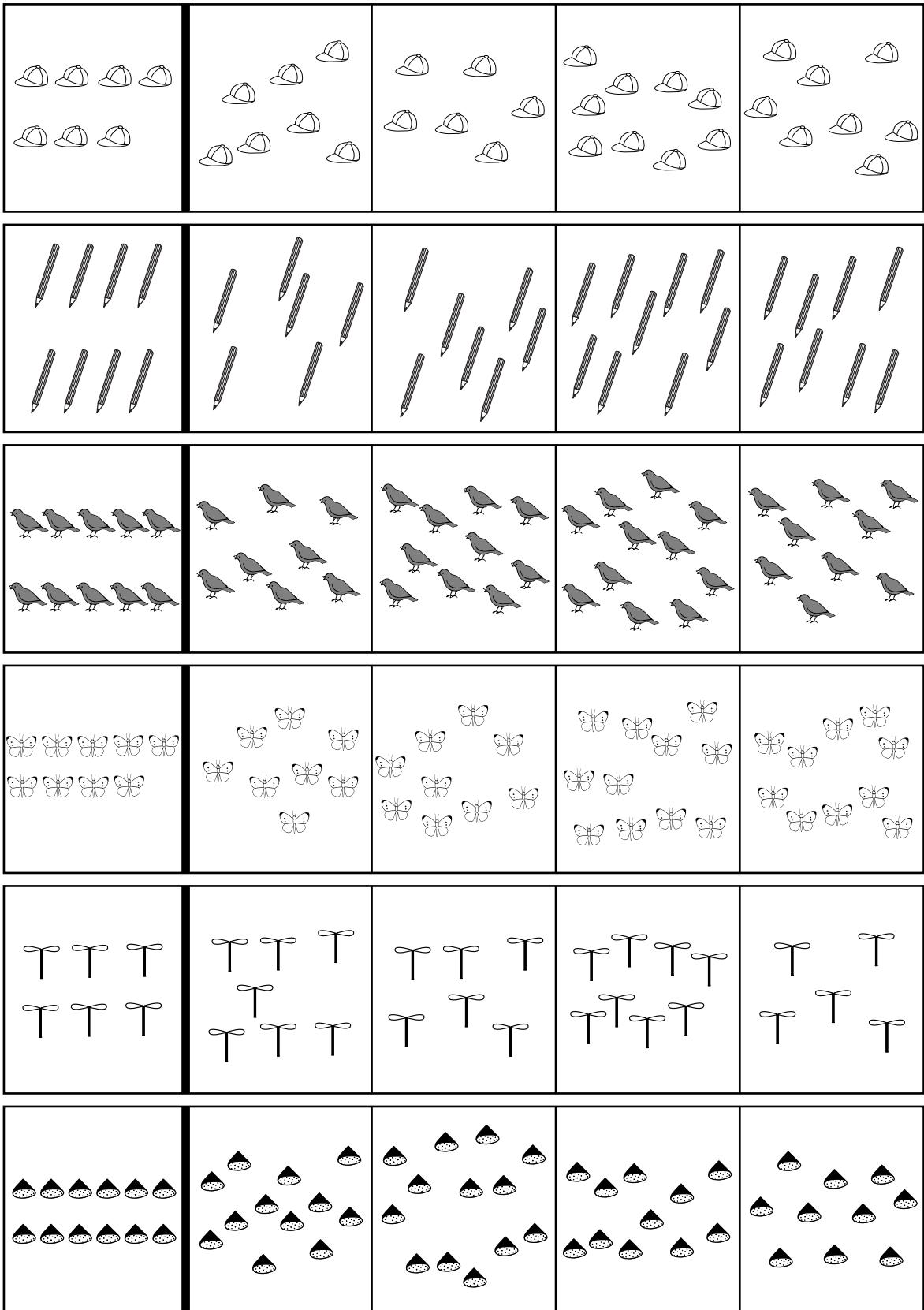
<問題13>の問題文

上の4人の子供たちに、下のバナナやミカンを同じ数ずつ分けると、1人につきいくつもらえるでしょうか？もらえる数を、○でかきましょう。

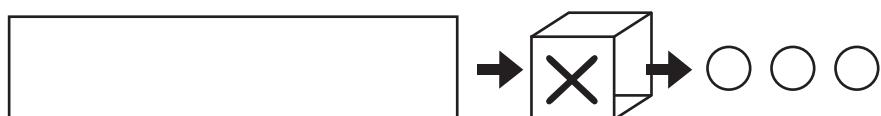
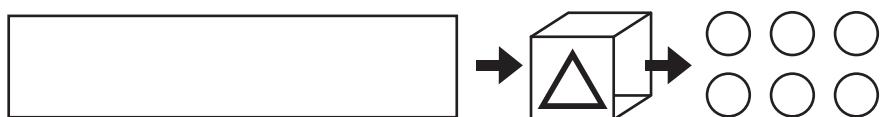
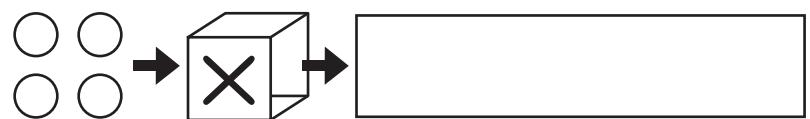
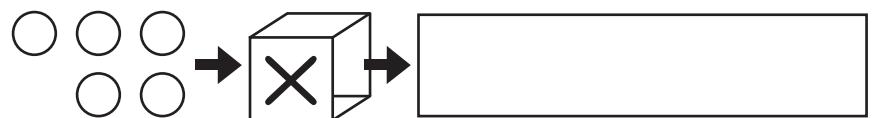
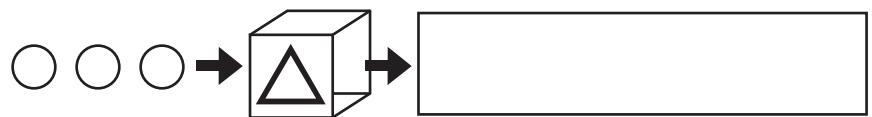
<問題3>の解答用紙



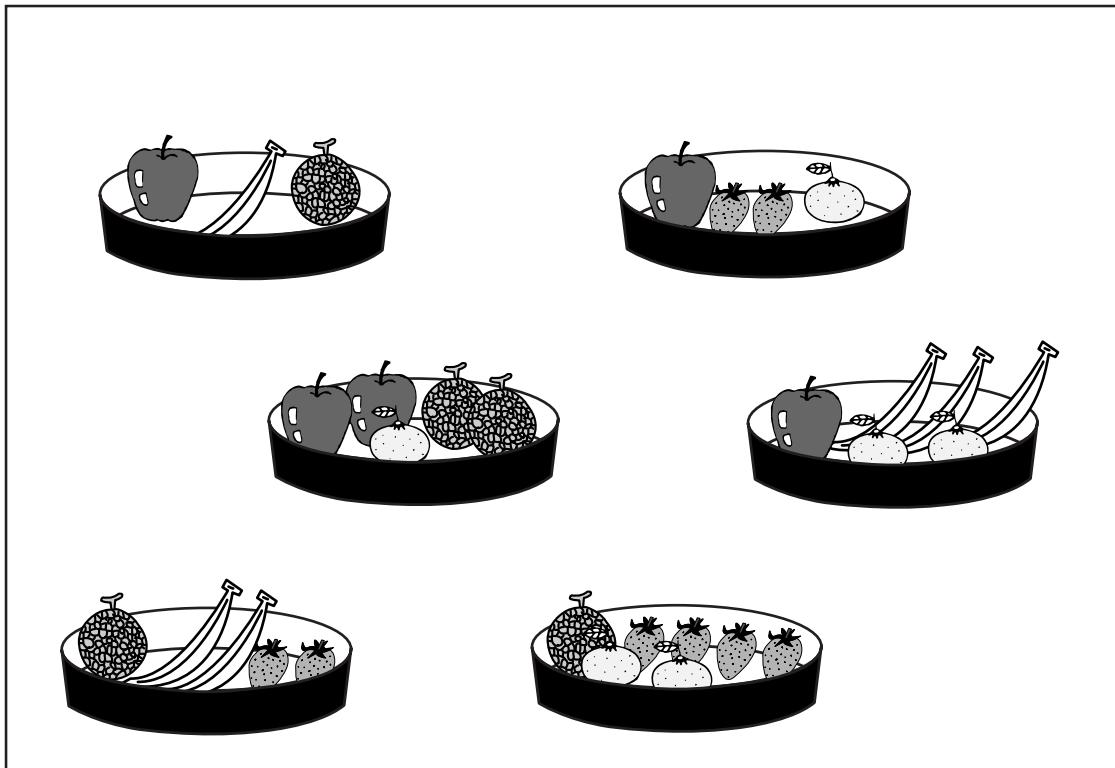
<問題8>の解答用紙



<問題15>の解答用紙



<問題18>の解答用紙



①

--

②

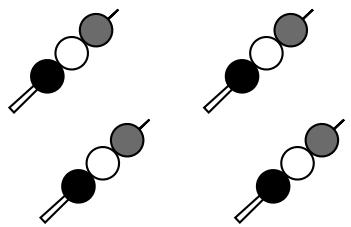
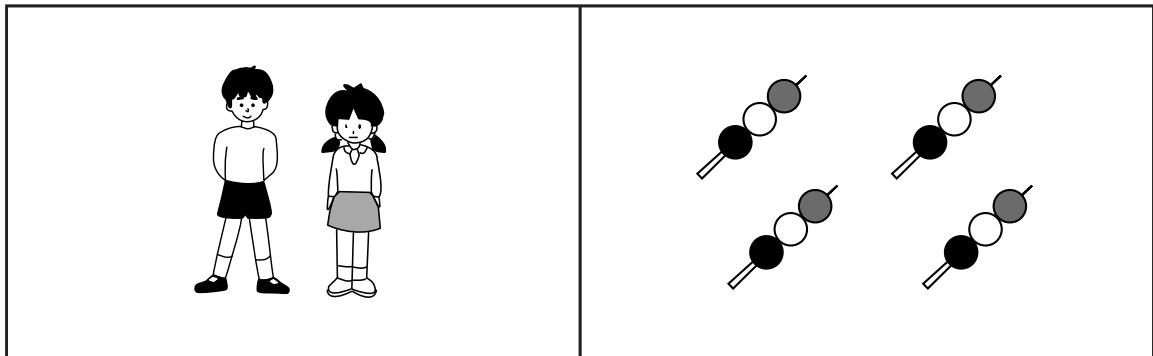
--

③

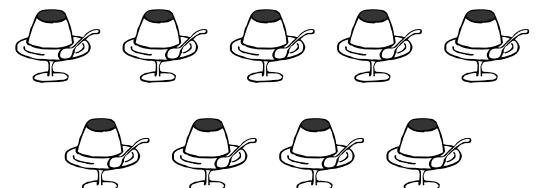
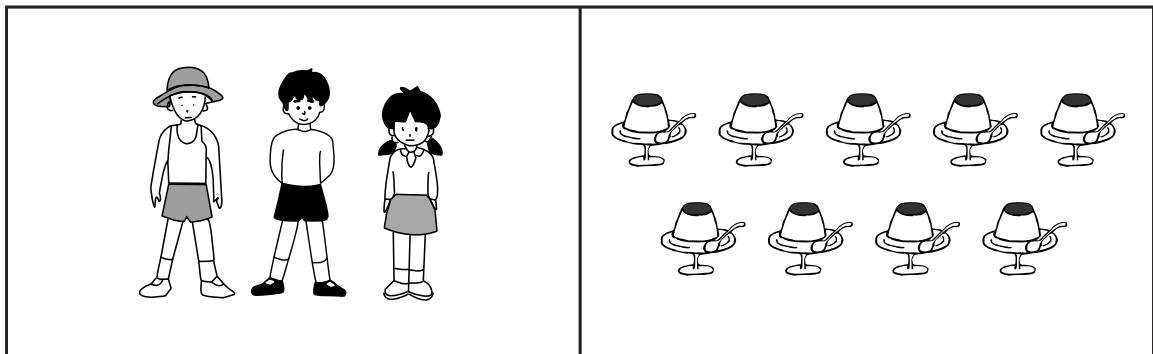
--

④

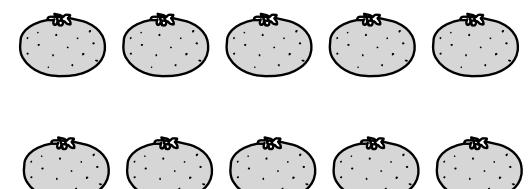
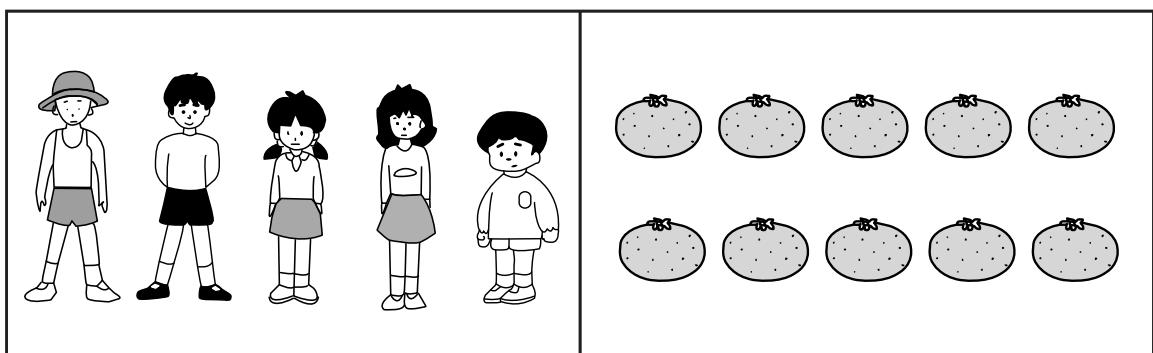
<問題24>の解答用紙



--	--	--	--	--



--	--	--	--	--



--	--	--	--	--